

未来洞察プログラムのご紹介

未来洞察は、
生活者視点からのアプローチを通じて未来を洞察し、
イノベーションの起点となる新しい機会を抽出する手法です

✓ダイヤモンドサイド・イノベーション

生活者にとっての価値変化という視点から、イノベーションの機会を捉える

✓アウトサイド・イン発想

既存の枠組みからは見えない不確実性、想定外の社会変化を捉える

✓シナリオシンキング

新しい生活／ビジネス機会の実現イメージをコンテキストで捉える

*博報堂イノベーションラボの未来洞察は、英国のBusiness Futures Networkとの提携により開発した独自のプログラムです。

既存の延長線上にある予測ではなく、 未来をより創造的に考えます

Forecast : 予測

- ・現在の延長線上で「未来」を考える
 - ・インサイド・アウト発想
 - ・確定要素で考える
 - ・定量データ重視
 - ・統計的アプローチ
 - ・解はひとつ

安定成長時代に適したスタイル

Foresight : 予見

- ・「未来」を複数発想⇒「今」を見る
 - ・アウトサイド・イン発想
 - ・不確定要素に着目する
 - ・定性データからのシナリオを重視
 - ・論理+直感型アプローチ
 - ・解は複数

不確実性の高い21世紀に適したスタイル

外部性の視点を含めることで 未来の新たな可能性を見出します

FACT : 事実

既知の領域

- ・ 自社動向
- ・ 業界動向
- ・ 技術動向
- ・ 人口動態

FAITH : 仮説

知らないということを知っている領域

- ・ 関連分野の動向
- ・ 潜在的な社会ニーズ
- ・ 潜在的な生活者ニーズ

FEAR : 外部性 / 不確実性

知らないことすら知らない
気付いていない領域

- ・ 想定外社会変化の可能性
- ・ 想定外市場変化の可能性
- ・ 想定外業態創造の可能性

未来をストーリーとして考えることで 生活者にとっての価値を創造します

